

西宮市議会議員

# 田中まさたけ

正 剛

市政・市議会報告



ホームページもご覧ください。

<https://masatake.jp/>



田中まさたけ 検索

## あきらめずに。

皆様からのご意見を頂くきっかけとなっていますこの報告書は、20年発行し続けて70号となりました。今回は、選挙の直前に行った本会議一般質問と令和5年度予算の概要をご報告します。そして、選挙を通じていただきましたご支援に対する感謝の念と皆様とのお約束を忘れず、6期目の任期も、既得権を守るだけの「お役所仕事」に馴れ合うことなく行動してまいります。

**掲載内容** ●令和5年度一般会計予算 ●出産・子育て応援給付金 ●防犯カメラの効果検証 ●高齢者に優しい移動環境の整備に向けて ●西宮市幼児教育・保育のあり方の課題

## 将来への投資を削り、将来世代にツケを残そうとする西宮市。住み続けたい西宮を創るために、財政構造改革が急務です。

令和5年度  
予算

### 令和5年度予算に表れた課題

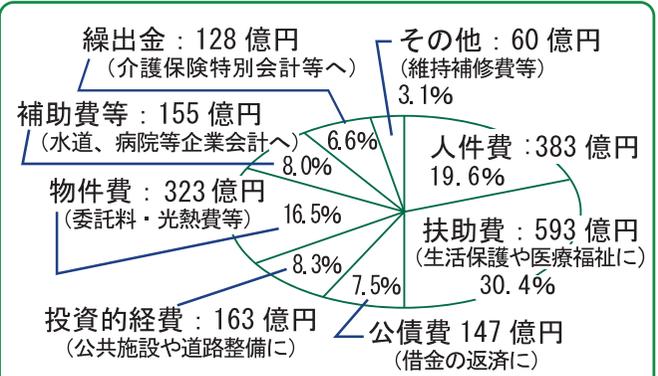
- 令和5年度の西宮市の予算は、
- 公共施設の更新等に必要な「投資的経費」を前年度よりも19億円(10%減)も抑制し、
- 市職員の定年延長により退職金が来年度に先延ばしされて人件費が前年度よりも10億円も減少したにもかかわらず、
- 来年度以降の備えどころか、財源不足を補うために財政基金(貯金)を80億円も取り崩す

内容となっています。

これは、今の西宮市が、財政的な数値目標のない「行政経営改革」でお茶を濁し、将来世代にツケを残す市政運営を続けている表れと言えます。

中面に掲載しましたが、時代の変化に対応して、まちの魅力を高めるためにやるべきことはまだまだあります。人口減少が始まった西宮市において、

公共施設や上下水道等のインフラの老朽化対策及びまちの特色を活かすための未来への投資、市内の企業や団体との協働や事業の委託を通じた経済対策による税収確保により、福祉や住環境を維持できる財政の構造改革を急ぐよう、あきらめずに提案し続けてまいります。



一般会計予算 1,952 億円の内訳 (性質別)



## 政策提言

令和5年3月議会一般質問では、①産後のサポート、②幼児教育・保育のあり方、③子供の居場所づくり、④防犯カメラの効果検証、⑤高齢化に伴う市内の移動環境について取り上げて政策を提言し、市と議論しました。

## 国が決定した「伴走型相談支援と経済的支援の一体的実施」の効果を市民に実感してもらえるように取組みを提案。

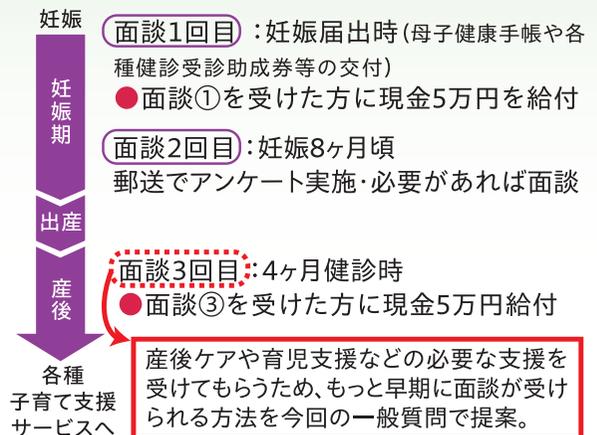
安心  
安全

### ■令和5年2月から「出産・子育て応援給付金」の支給が始まっています

昨年末の国の補正予算で決定し、西宮市では本年2月から始まった伴走型相談支援と経済的支援の一体的実施事業「出産・子育て応援給付金」(右図が概要)の課題について、令和5年3月議会一般質問において議論しました。私は、

- 産後の面談(3回目)を担当する専門の担い手が確保できていない
- 産後の面談(3回目)の時期がこれまでと変わらず遅いままである
- 現在実施している支援の機会を有効活用するなど、「できる方法」の検討が不十分であることを指摘しました。これでは、支援を必要とする

方が支援を受けづらい環境は改善されず、新たな経済的支援も活かせないと考えています。



## 産後の切れ目のない支援の入口として、専門家による「新生児家庭訪問」の積極活用を再び提案。

### ■「できない理由」に対して「できる方法」を提案

私は、産後の母子が安心して暮らせる環境として、産後ケア事業や育児支援サービス、保育所や子育てサークルに関する情報提供など、出産後に面談して的確にアドバイスができる体制の整備が必要であり、虐待防止の観点からも、産後にできるだけ早く面談し相談を受け、経済的支援が受けられるようにすることが有効と考えています。

そこでまずは、現在保健師と助産師によって出生後2ヶ月までに実施されている「新生児家庭訪問」の機会を活用して面談を受けてもらい、経済的支援を早期に実施することで、必要な支援につなげるよう提案したところ、市から対応を検討するとの回答を得ました。さらに、この訪問指導を受けやすくするために、現在、母子

健康手帳添付の葉書、または電話で行われている申請に加えて、

- 新生児家庭訪問の申請の電子化
- 母子健康手帳の電子化

も提案し、市は対応すると回答しました。

令和4年の西宮市の出生数は3384人でしたが、私は、20年前と比べて年間の出生数がおおよそ1,300人も減少していることを憂慮しています。ですので、「〇〇の無償化」だけの子育て世代の奪い合いに終始せず、こうしたきめ細かな配慮を重ねることで、経済的にも精神的にも西宮市での子育てのしやすさを実感してもらい、安心して2人目以降の出産も考えられるような取組みを重視したいと考えています。

この記事に対するご質問・ご意見は、[nishinomiya@masatake.jp](mailto:nishinomiya@masatake.jp)までお寄せください。

## やりっぱなしのお役所仕事を私の一般質問で追及。第二の被害者を生まないためにも、防犯カメラの増設は急務です。

安心  
安全

### ■防犯カメラの効果を常に検証するべき

前市長時代に3年間で約1億4千万円を投じて300台の防犯カメラが設置されました。現市長に変わり、コロナ禍で特殊詐欺が激増した令和2年度末に、経費をかけて、これ以上のカメラの増設をしない理由をつくりあげました。その後の効果検証は行っておらず、令和5年3月議会一般質問において、今後もカメラの更新検討時期である令和6年度まではしないと回答しました。昨今、認知症の方の徘徊や凶悪犯罪も増加しているなかで、**警察との連携を強化して防犯カメラの増設を検討すべきであるにもかかわらず、市民の安全よりも人件費、職員の負担軽減を優先するのが現在の市の姿勢と言えます。**

### ■公園への防犯カメラの設置は少し前進

以前より提案してきた防犯カメラによる公園の安全管理については、**新たに整備された西宮**

**浜総合公園と御前浜公園、再整備後の西宮中央運動公園でも行うことを明らかにしました。**しかし、その他の既存公園については、すでに14ヶ所の公園では地域団体が防犯カメラを設置しており、**今後も市が設置するのではなく、民間企業等と協働して設置している他市の事例を調査し、設置の可能性を検討すると回答しました。**

今後も、市民の安全向上のため、「できる方法」をあきらめずに提案してまいります。



西宮浜総合公園内  
「みやっこキッズダム」



過去の一般質問  
(令和元年6月議会)  
の概要はこちらから  
ご覧いただけます。

## コミュニティ交通の導入に経費をかけず、時間をかけた市に対して、民間のICT技術の活用による迅速な対応を提案。

交通  
環境

高齢化の進展により、買い物や病院への通院など、日常生活における市内での移動の利便性が課題となっている地域があります。そこで令和5年3月議会一般質問において、段上、仁川地域の公共交通不便地域の取組みについて議論しました。

人手不足と採算性の問題から、民間のバス路線の拡充はなかなか実現されず、コミュニティ交通の導入についても、「ぐるっと生瀬」の運行開始から7年が経過してもなお、山口、名塩、甲陽園、苦楽園の地域において試験運行を含めた検討が進められているのみとなっています。

**高齢者に対して免許返納を促している中で、交通安全の観点からも市内交通の利便性の向上は、スピード感をもって対応すべき課題です。**

そこで一般質問において、経済対策も考慮し、交通事業者、市内の商店街、スーパー、病院等

の参画を募り、**MaaS(マース:ICTを活用して住民等の移動の利便性向上を図るサービス)の取組みを積極導入**するよう提案しましたが、市はまだ無策かつ消極的です。

西宮市でも、民間と協働してICTを活用することにより、自宅から目的地まで、より安価に便利に移動できる環境整備は可能と考えています。**交通環境の整備は公共が主導すべきであり、お役所仕事を放置しては、時代の変化に取り残され、まちは衰退の一途をたどります。**今後も、情報収集し、あきらめずに市に政策を提案してまいります。



←ぐるっと生瀬

平成23年度に市の調査研究費が予算化され、地域住民の方々の手で準備が進められ、平成27年度に本格運行を開始。

## 令和7年度に市立浜脇保育所が認定こども園となり、同時に市立浜脇幼稚園が閉園する計画が示されました。

幼児教育

### ■「幼児教育・保育のあり方」が示されました

令和5年3月に、西宮市は、市立保育所と幼稚園を統廃合して市立認定こども園を設置することで、公立園の縮小を図る方針を示しました。そして、その市立認定こども園において、これまで私立幼稚園に入園してきた1号認定の3歳児の受入れを始めることを発表しました。これは実質、ニーズが減少した幼稚園枠を拡充して、入所できない児童がいる保育所枠(2号認定児童)を減らす内容です。そしてまずは、令和7年度に市立浜脇保育所が認定こども園となり、同時に、市立浜脇幼稚園は廃園する計画となっています。そこで、令和5年3月議会一般質問において、公立認定子ども園においては、入所枠が増える4歳児から1号認定児童を受入れ、2号認定児童と特別支援が必要な児童の受入れを強化して公の役割を果たすべきと指摘し、市は「実施にあたっての詳細を整理する」と回答しました。

その他、令和5年3月議会一般質問において、

- 効果が限定的で高経費の連携公立幼稚園制度
- 老朽化が進む公立保育所の民間移管と建替え

### ●一時期に急激に増やした定員に空きが生じ始めている地域型の小規模保育所

についても将来を見据えた方策を提案しました。

しかし市は、今後の具体的な方向性を示すことができない上に、市職員の既得権に配慮してのことか、提案を受け入れようとしません。

今後とも将来を見据えた子供の幼児教育・保育の環境の発展を目指し、あきらめずに取り組みます。



令和7年度に統廃合へ。



↑  
詳細はこちらから

この記事に対するご質問・ご意見は、[nishinomiya@masatake.jp](mailto:nishinomiya@masatake.jp)までお寄せください。

## 約束のかたち：「市政・市議会報告」の発行の継続、「市政報告会・意見交換会」の開催

このチラシは、単なる広報やPR誌ではなく、市民の声を伺うきっかけとなる広聴のためのチラシでもあり、選挙前だけではなく定期的に作成してきました。このチラシを見て、掲載内容以外のことも含めてご意見を寄せてもらっています。すぐには実現できない内容も多いですが、だからこそ、今すぐ着手しなければならないこともあります。諦めずにご意見や情報をお寄せください。

発行責任者

田中正剛 たなか まさたけ

昭和50年7月生まれ/大阪府立四条畷高等学校、神戸大学工学部卒業/元市会議員事務所に4年間勤務した後、平成15年4月に西宮市議会議員選挙初当選(当時27歳)、現在6期目、教育こども常任委員会委員長

■これまでに就任した市議会での主な役職

厚生常任委員会委員長、西宮市監査委員、病院問題特別委員会委員長、阪神水道企業団監査委員、西宮市議会副議長、建設常任委員会委員長、民生常任委員会委員長、第88代西宮市議会議長(当時41歳)

profile

■69号:通信簿

体育館へのエアコン整備、5期20年で提案した政策の結果、市立中央病院と県立西宮病院の統合新病院の動向等について掲載。



LINE  
公式アカウント



← こちらのQRコードをスマートフォンのLINEアプリで読み取って、是非ともご登録下さい。